

# 議会 だより

こがし  
古河市

第 **50** 号

平成 29 年 5 月 15 日  
編集／議会だより編集委員会  
発行／古河市議会  
ホームページ

古河市議会

検索



いざ、出陣だー！（古河公方こども武者行列）

## 平成 29 年 第 1 回定例会 開催

第 1 回定例会は 3 月 1 日から 3 月 17 日までの 17 日間で開かれ、認定 2 件、報告 7 件、議案 50 件について審議しました。代表質問は 3 月 14 日に行われ、各会派の代表者が登壇し、一般質問は 3 月 15 日、16 日の 2 日間行われ、8 名の議員が登壇しました。また、最終日に議案 2 件、議員提出議案 5 件が追加されました。請願 3 件、陳情 2 件については、5 ページの一覧表のとおりとなりました。

## 平成29年 第1回定例会議決一覧表

議案番号	件名	議決日	議決結果
認定第1号	古河市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	29.3.1	承認
認定第2号	和解及び損害賠償の額の決定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	29.3.1	承認
議案第1号	平成29年度古河市一般会計予算	29.3.17	修正可決
議案第2号	平成29年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	29.3.17	原案可決
議案第3号	平成29年度古河市国民健康保険特別会計（直診勘定）予算	29.3.17	原案可決
議案第4号	平成29年度古河市古河福祉の森診療所特別会計予算	29.3.17	原案可決
議案第5号	平成29年度古河市後期高齢者医療特別会計予算	29.3.17	原案可決
議案第6号	平成29年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	29.3.17	原案可決
議案第7号	平成29年度古河市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算	29.3.17	原案可決
議案第8号	平成29年度古河市公共下水道事業特別会計予算	29.3.17	原案可決
議案第9号	平成29年度古河市農業集落排水事業特別会計予算	29.3.17	原案可決
議案第10号	平成29年度古河市ゴルフ場事業特別会計予算	29.3.17	原案可決
議案第11号	平成29年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計予算	29.3.17	原案可決
議案第12号	平成29年度古河市片田南西部土地区画整理事業特別会計予算	29.3.17	原案可決
議案第13号	平成29年度古河市公共用地先行取得特別会計予算	29.3.17	原案可決
議案第14号	平成29年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計予算	29.3.17	原案可決
議案第15号	平成29年度古河市水道事業会計予算	29.3.17	原案可決
議案第16号	古河市事務分掌条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第17号	古河市個人情報保護条例の一部を改正する条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第18号	古河市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第19号	古河市職員定数条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第20号	古河市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第21号	古河市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第22号	古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計条例の制定について	29.3.17	原案可決
議案第23号	古河市税条例等の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第24号	古河市開発行為、建築等に関する手数料条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第25号	古河市虐待・DV対策基本計画策定委員会設置条例の制定について	29.3.17	原案可決
議案第26号	古河市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第27号	古河市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第28号	古河市福祉、保健及び医療に関する施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	29.3.17	原案可決

議案番号	件名	議決日	議決結果
議案第29号	古河市自転車駐車場の設置及び管理等に関する条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第30号	古河市介護保険条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第31号	古河市地域包括支援センターの運営及び職員の基準を定める条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第32号	古河市建築基準条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議案第33号	古河市スポーツ推進審議会条例等の一部改正等について	29.3.17	原案可決
議案第34号	指定管理者の指定期間の変更について	29.3.17	原案可決
議案第35号	一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥）処理業務の事務の委託について	29.3.17	原案可決
議案第36号	市道の路線認定について	29.3.17	原案可決
議案第37号	平成28年度古河市一般会計補正予算（第5号）	29.3.17	原案可決
議案第38号	平成28年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）	29.3.17	原案可決
議案第39号	平成28年度古河市国民健康保険特別会計（直診勘定）補正予算（第3号）	29.3.17	原案可決
議案第40号	平成28年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算（第3号）	29.3.17	原案可決
議案第41号	平成28年度古河市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	29.3.17	原案可決
議案第42号	平成28年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）	29.3.17	原案可決
議案第43号	平成28年度古河市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）	29.3.17	原案可決
議案第44号	平成28年度古河市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	29.3.17	原案可決
議案第45号	平成28年度古河市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	29.3.17	原案可決
議案第46号	平成28年度古河市ゴルフ場事業特別会計補正予算（第2号）	29.3.17	原案可決
議案第47号	平成28年度古河市古河駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	29.3.17	原案可決
議案第48号	平成28年度古河市片田南西部土地地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	29.3.17	原案可決
議案第49号	平成28年度古河市水道事業会計補正予算（第3号）	29.3.17	原案可決
議案第50号	（仮称）三和地域交流センター建設工事請負契約締結について	29.3.17	原案可決
議案第51号	古河市副市長の選任につき同意を求めることについて	29.3.17	同意
議案第52号	古河市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	29.3.17	同意
議員提出議案第1号	古河市議会委員会条例の一部改正について	29.3.17	原案可決
議員提出議案第2号	後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書	29.3.17	原案可決
議員提出議案第3号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書	29.3.17	原案可決
議員提出議案第4号	奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書	29.3.17	原案可決
議員提出議案第5号	「地域医療を担う公的医療機関の開設者として、責任ある運営をすること」を求める要請書	29.3.17	原案可決

※色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案

○賛成、×反対

議案番号	真政会				古河市公明党				古河維新の会				政策研究会				市民ベースの会			無党派					
	黒川輝男	鈴木隆	園部増治	赤坂育男	高橋秀彰	渡辺松男	佐藤稔	鶴見久美子	増田悟	倉持健一	山腰進	稲葉貴大	並木寛	佐藤泉	生沼繁	大島信夫	渡邊澄夫	小森谷英雄	秋山政明	阿久津佳子	長浜音一	秋庭繁	落合康之	四本博文	
議案第1号 (修正議決した部分を除く 予算原案)		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第2号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第5号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第6号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第7号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第8号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第9号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第10号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第11号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第12号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第14号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第15号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第17号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第22号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○
議案第23号		○				○				○			○	-		○			○				×	○	○

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

※欠席議員は「欠」と表示。

平成29年度古河市一般会計予算を修正可決

平成29年度古河市一般会計予算について、一般会計予算特別委員会において、副市長人件費2名分を1名分に減額し、火災や自然災害等の発生時における消防団員の安全確保が最優先課題であるとし、同額を消防団活動事業費に充て「装備品の充実を図るべき」とする修正が加えられました。

3月17日の本会議において採決が行われ、全会一致で可決されました。なお、修正議決した部分を除く予算原案は、賛成者多数で可決されました。

(単位 千円)

款	項	修正前	修正後	増減額
2	総務費			
	1 総務管理費	3,567,198	3,551,713	▲ 15,485
9	消防費			
	1 消防費	2,184,479	2,199,964	15,485

## 請願・陳情一覧表

番 号	件 名	提 出 者	審議結果
平成28年 請願第5号	「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願書	茨城県社会保障推進協議会 代表委員 瀧澤 利行	採 択
平成28年 請願第6号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願	一般社団法人茨城県保険医協会 代表理事 宮崎 三弘	採 択
平成28年 請願第7号	小中学校の給食費の保護者負担軽減を求める請願	新日本婦人の会 古河支部長 野田 初江	趣旨採択 (※)
平成28年 陳情第13号	「奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書」の採択を求める陳情	日本労働組合総連合会茨城県連合会 県西地域協議会 議長 樋口 健一	採 択
平成29年 陳情第1号	「茨城県厚生農業協同組合連合会に対し、地域医療を担う公的医療機関の開設者として、責任ある運営をするよう要請すること」を求める陳情	茨城県厚生連労働組合 中央執行委員長 美野輪 智博	採 択

※趣旨採択…請願・陳情の願意は妥当だが、その一部の実現が困難と思われ、「趣旨については賛成」とするもの。

## 平成29年度予算に対する各会派の意見

## 真 政 会

平成29年度予算は、針谷市長が就任し初の予算となるが、選挙中訴えてきたことが随所に見受けられ、古河市の将来につながるものと思う。「プロジェクト推進室」の設置、上辺見保育所建て替え、救急医療機関への支援、仁連地区産業用地開発、駅西地区への消防施設整備などがあげられる。よって賛成する。

黒川 輝男      鈴木 隆  
園部 増治      赤坂 育男

## 古河市公明党

日野自動車の全面稼働や、圏央道の県内全線開通等、本市発展への環境整備が一段と進展する中、新年度予算は、自主財源の確保を念頭に、経済再生と財政健全化の両立を目指すメリハリのある予算編成となっている。持続可能な行政サービスの提供を目指し賢明な市政運営、健全な財政運営を強く望む。

高橋 秀彰      渡辺 松男  
佐藤 稔      霧見久美子

## 平成29年度予算に対する各会派の意見

## 古河維新の会

菅谷前市長時の2年間、消防団員家族への功労報償金があったが、平成29年度の予算はなし。なぜ予算がないのかの質問に市長はこの2年間は異常だったと答弁した。また、タウンミーティング時に一番多い要望は生活道路の改善等であるにもかかわらず、大幅の減額である。市民の要望を聞いていただきたい。

増田 悟      倉持 健一  
山腰 進      稲葉 貴大

## 政策研究会

古河市は人口減少・少子高齢化などの社会情勢に対応するため、歳入基盤の強化を図るとともに歳出の削減に取り組む必要がある。副市長2名体制の予算を1名分減額するとともに、消防団の装備品を至急整備すべきであると考え、消防費増額の修正案を提案し、可決された。さらなる市の発展を願う。

並木 寛      佐藤 泉  
生沼 繁      大島 信夫  
渡邊 澄夫      小森谷英雄

## 市民ベースの会

全国でも先進事例となったICT教育へのさらなる支援強化や消防団への新たな支援の確立、また職員の意識改革を行うことに期待し賛成。一方で消防団家族功労報奨金の廃止、総和・三和地区がメインの道路新設事業の大幅予算減に関しては、事前説明なく進められた。今後は密な情報共有など誠意ある対応を望む。

秋山 政明      阿久津佳子  
長浜 音一



## 会派に属さない議員

## 秋庭 繁

新年度予算は、仁連新産業用地開発を進める反面、旧総和・三和地域の生活道路改良費および生活保護費等で約6億円も削減。開発優先、福祉切り捨ての市民に冷たい予算である。

## 落合 康之

一般会計予算委員会において、副市長人件費を消防費に振り替えて修正し可決できたことは、古河市議会史上初のこと、賞賛に値する。市民目線の予算となったことで賛成する。

## 四本 博文

平成29年度の予算が決定。予算規模は、古河市の台所事情を常に見据えながら、「地方債依存度」「将来負担比率」「実質公債費比率」の健全化の推移を見守る必要がある。

# 市長の施政方針に対し 各会派の代表質問が行われました

第1回定例会初日の3月1日に、針谷力市長による平成29年度の市政運営の基本方針並びに施策について述べる施政方針演説が行われました。

3月14日には施政方針に対し、各会派の代表者が代表質問を行いました。



## 代表質問

質問と答弁の概要をお知らせします。



### 真政会

(質問者：黒川 輝男 議員)

#### コンパクトシティへの取組みについて

**問** 高度成長期後の日本において急激、かつ加速度的に進む少子高齢化社会に対応すべく、政府の打ち出したコンパクトシティへの古河市の考え方と今後の方針について伺う。このコンパクトシティの在り方は、限られた財源の中で、いかに効率の良い行政運営を進めるかについて、国の方針や情報をきめ細かく収集し、住環境の整備を

はじめとし、産業、福祉、教育、子育て支援等に、幅広く運用が効く、古河市の将来に大きく作用する重大施策であることを踏まえ、古河市執行部の考え方を尋ねるものである。

**答(市長)** 国では、人口の急激な減少と高齢化を背景に、財政面及び経済面において、持続可能な都市経営を図るため、コンパクトなまちづくりを目指すこととし、平成26年に立地適正化計画が制度化された。古河市においても、人口減少に対応するまちづくりの具現化として、平成28年度から3カ年事業として、立地適正計画の策定に取り組んでいる。高齢者や子育て世代にとって安心できる生活環境を実現すること、持続可能な都市経

営を可能とすることを目的に、医療、福祉、商業等の都市機能を誘導し、集約する区域や一定のエリアにおいて人口密度を維持し、生活サービス等が持続的に確保できるよう、居住を誘導する区域を定める。今後、それらの区域を結ぶ公共交通や医療、福祉施設等都市再生特別措置法による各施策に対する国等からの財政支援などの情報収集に努め、各機関とも連携し、積極的に活用しながら持続可能なまちづくりを進めていきたい。





## 古河維新の会

(質問者：増田 悟 議員)

## 古河駅東部土地区画整理事業について

問 保留地販売促進活動の見直し、早期の保留地販売について、大手ハウスメーカーに販売予定地（国道125号沿い向堀川西）を他の企業に販売すると聞くが本当なのか。また以前に130億円の文化センター建設予定地だった産業廃棄物最終処分場跡地に、再び巨大文化センター建設と市役所新庁舎建設の計画までであると聞くが、どうなのか伺う。

答（市長）保留地を特定の企業に販売する計画はなく、公募により売却先を決定する。効率的な販売促進を検討していきたい。また、新たな文化センター建設および市役所新庁舎建設の計画は現在のところ全くない。企業の出店計画の確認、公共施設の誘致や建設に対する要望、市民の希望や意見を踏まえ、総体的に検討していきたい。

## 大堤南部土地区画整理事業と新駅について

問（仮称）南古河駅について基礎調査費600万円はどんな調査か。本当に南古河駅ができるのか。今後の事業の進め方として地元の合意が第一である。地元議員の役割が必要では。具体的に伺いたい。

答（市長）今回の調査では、現況調査、利用者等の将来予測等、新駅設置のための一般的な基礎調査を行うことを前提に考えており、前回調査をベースに、まちづくり、社会、経済、環境の変化を考慮し内容を見直しするものとしている。また事業を進めるには、地元の合意が大前提であり、地元議員には中心的役割を担ってもらい、市としても、地元の合意形成を図るきっかけづくりに努めていきたい。



## 政策研究会

(質問者：生沼 繁 議員)

## 災害に強いまちづくりについて

問 災害に強いまちづくりの中で中央運動公園体育館は指定避難所になっているが、避難経路の道路が冠水し封鎖され、避難できない。問題解決には、この周辺に調整池をつくることだと考える。災害時、防災行政無線が有効な情報伝達であるが、現在三和地区の70基と利根川・渡良瀬川沿岸の38基が設置済みである。今後も増設の計画がある

のか。また一昨年に関東・東北豪雨のとき、三和地区に行く幹線道路が冠水し、筑西幹線道路の一路線のみが通行可能だった。その路線も柳橋下大野線が冠水し封鎖された。いざ緊急時に人命を救うことができない。幹線道路の対策を伺う。



答（市長）避難所への避難経路確保は大変重要であると認識している。各冠水箇所の個々の状況を勘案し、排水路整備、調整池の設置など全庁的に雨水対策を検討していく。また情報伝達手段の重要性は強く認識しており、防災行政無線や緊急速報メー

ル等により避難情報や道路冠水状況等の情報提供をしてきた。あらゆる可能性を模索し、市民の安全確保に努めていきたい。

防災行政無線については、平成30年度まで整備を予定しており、その後の展開を再検討していきたい。幹線道路浸水対策については、今後も全体の都市排水計画を含めて、状況に応じて対応策を練っていきたい。

答（副市長）柳橋下大野線の場合は道路のかさ上げで対応できたが、民地との関係で一概にかさ上げという手法だけでは難しい。まずは1路線、接続部分をかさ上げすることにより、ある程度古河地区から三和地区への横軸の通行が可能になってくる。全体的に判断し、検討していきたい。





## 古河市公明党

(質問者：高橋 秀彰 議員)

### 市政運営の基本方針について

**問** 本市の未来への発展に向けた新市建設計画の先導的プロジェクト等の推進について、プロジェクト推進室を設置するとあるが、職員等の配置および具体的な事業内容等について伺う。

**答 (市長)** プロジェクト推進室の職員の配置は3名程度を予定している。業務内容は新市建設計画に定められた(仮称)南古

河駅の設置、産業文化交流拠点の整備、高等教育機関の誘致、筑西幹線道路の整備の4つのプロジェクトの推進と市長指示事項の調整および実施の進捗管理が主な業務である。



### 都市基盤について

**問** 高齢化の進展に伴う交通弱者の増大の中で、市民の移動手段として、安全で自由に移動できる交通環境の充実が必要不可欠である。持続可能な公共交通体系の構築等について、どのよ

うな構想をお考えか伺う。

**答 (市長)** 公共交通機関に関しては、利用者アンケートやタウンミーティング等でさまざまなご意見、ご要望をいただいております。要望に応えられるよう古河市地域公共交通網形成計画を策定する必要が生じてきたところである。十分な調査をし、その結果を踏まえて、古河市公共交通活性化会議を通して、持続可能な公共交通体系を構築していきたい。

### 《その他の質問》

- ・市民協働について
- ・健康福祉について
- ・教育文化について
- ・産業労働について
- ・生活環境について



## 市民ベースの会

(質問者：長浜 音一 議員)

### 施政方針について

**問** 先導的プロジェクトの推進に当たり、どのように市民の声を聞いて、推進の是非を決めるのか。またICT教育について、市内の公開研究授業やシンポジウムを見たが、子どもたちの旺盛な学ぶ意欲が見え、積極的な言動が印象的だった。市は最先端の教育環境でどんな授業を展開しているのか。また、今後推進するための課題は。

行財政改革や職員の意識改革については、歴代の首長も推進されてきたが、改革の目指すべき目標は。また目標達成のための具体的方法として何を実施するのか。

**答 (市長)** 先導的プロジェクトの推進について、市民の声を聞く方法として現在実施しているアンケート調査、シンポジウム、パブリックコメント等のほかにもさまざまな手法を検討する必要がある。今後対話と行動を基本姿勢として、市民とともに未来に誇れるまちづくりに向け取り組んでいきたい。

ICT教育については、ICT機器を児童生徒の考えの整理、表現する道具として利用した授業を展開してきた。また、プロ

グラミング学習等の先進的な取り組みも進めている。今後はこれまでの実践例を踏まえ、有効な指導法や先進的な活用法を市内全域に広げていきたい。

行財政改革については、第3次古河市行政改革大綱で、3つの重点目標として、健全財政の確立、職員数の抑制、ファシリティマネジメントの確立を掲げ、全庁を挙げて取り組んでいる。

職員改革については、職員みずからがつくった古河市職員新・人材育成ビジョンがあるのでこれを再度振り返ることも必要だと思う。



## 第1回定例会 一般質問

8名の議員が市政を問う！



秋山 政明 議員

## 障がいを抱える子どもとその家族が安心して暮らせるまちづくり

問 障がいがある子どもとその家族はさまざまなサポートを必要としている。24時間365日付き添わなくてはならない医療的ケアが必要な子、発達障がいがあり子育ての難しさに日々直面する保護者、受け入れてくれる幼稚園・保育園が見つからないケースなど、日常的に支援が必要である。その支援体制について問う。①障がいがある子ども

の早期療育の推進について②幼稚園・保育園に対する支援について③小・中学校が抱える課題と対策について④家族を支える支援について⑤児童発達支援センター「ぐるんぱ」の今後の方向性について。

答（健康福祉部長）①早期療育の推進として、児童発達支援講演の開催、3歳になるまでに計4回の乳幼児健診を行っている。また、保護者の発達に関する不安等の相談に保健師や保育士がきめ細やかに対応している。④障がい児の家族が病気などの理由により介護が難しいときに、施設にて一時的に預かる、短期入所を行っている。⑤保育者のニーズに合わせた専門性や量的

拡大にも努め、よりよい療育体制の構築を図っていきたい。

答（市長公室長）②障がい児を保育している保育園に対し、市が補助金を支出している。また幼稚園等については、県からの助成がある。

答（教育部長）③特別支援学級は116学級あり、教育活動全般について指導、支援を行っている。児童生徒への指導や支援方法に悩む担当教員に対し、巡回教育相談等を実施し、自信を持って対応できるようにしている。



阿久津 佳子 議員

## 古河市のバリアフリーについて

問 市内施設の汎用・障害者等用駐車場の利用状況、特に汎用駐車場利用者が多く見込まれる施設の駐車場確保は十分か。不十分であれば拡充のための対策について伺う。また、汎用駐車場の不適正利用についての取り組みはいかがか。

答（財政部長）汎用・障害者等用駐車場の利用状況について、

設置区画数が不足する場合もあると思われる。古河市ファシリティマネジメント基本方針において、時代に即した公共施設機能確保のため、ユニバーサルデザイン対応など質の高い公共施設サービスを提供していく。

答（健康福祉部長）汎用駐車場の不適正利用について、国の進める駐車スペースを色分けして設けるダブルスペース導入などを参考に検討したい。



に高齢者宛て文書として分かりやすい内容か、文字サイズは適したものであるか。また、返信を要する調査票等の回収率と、配布方法、回収方法の改善を考えているか伺う。

答（総務部長兼危機管理監）郵送する文書について、市の公文書作成マニュアル徹底を図り、相手が理解しやすい文書作成を周知していく。文書がわかりづらいときの問い合わせ先の明記、問い合わせ時の対応についても注意を促す。文書の返信方法について、どのような回収方法が可能か検討したい。

## 市民サービスについて

問 市からの郵便物は、市民、特

その他の質問事項

・少子化対策について



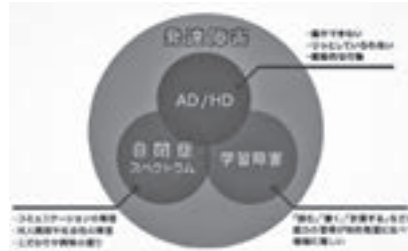
鶴見 久美子 議員

発達障がい児への理解について

**問** 発達障がいは、脳機能の発達に関係する生まれつきの特性で、病気とは異なり多くは幼児期からさまざまな症状があらわれる。早期発見・療育が大切であるが、本市の発達障がい児の支援について伺う。

早期の適切な対応、就学に向けての準備へつなげていくため、保護者が気づく事が大切であり、5歳児健診が必要だと考えるが所見を伺う。また、保護者への

フォローや心のケアも必要であり、同じ障がいを持ち、子育てを経験し、一定の研修を受けた保護者のペアレントメンター養成研修実施について所見を伺う。



発達障がいとは

**答 (健康福祉部長)** 発達障がい児の支援については、児童発達支援サービス、放課後デイサービス、保育所等訪問支援のサービスを実施している。

5歳児健診について、実施に当たっては、小児科医、心理士

等のスタッフの協力が必要である。今後は、幼稚園、保育園と連携を密にし、5歳児相談の充実を図り、健診の在り方についても検討していきたい。ペアレントメンター養成研修については、先進地事例等情報収集しながら検討していきたい。

高齢者の免許自主返納について

**問** 自主返納した高齢者への優遇制度導入に対し所見を伺う。

**答 (生活安全部長)** 交通事故防止対策の一環として、運転免許証を自主返納される人を支援する必要があると思われる。先進地を含め事例調査を行い、研究していきたい。



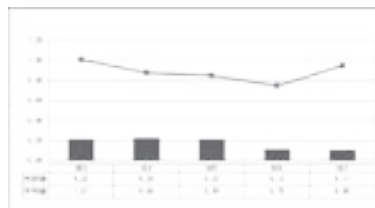
佐藤 稔 議員

水道事業の現状と今後について

**問** 水道施設の多くは高度経済成長時代に整備されたものであり、老朽化が進み更新時期にある。厚労省は水道法改正案の中で、施設の戦略的な老朽化対策を努力義務化し、新たに広域連携の推進、水道台帳の整備、持続可能な水道料金設定、コンセッション方式の導入、アセットマネジメントの進捗管理等を自治体に求めている。安定的に安全な水の供給を確保するための、

市の水道事業の現状と今後について伺う。

平成27年度全国平均 [0.85]



古河市の管路更新率 (%)

**答 (上下水道部長)** 市の水道事業について、老朽化対策については、老朽化施設の更新、改築を施設の健全性を確保しながら、計画的に行う。

広域連携については、先進事例や近隣自治体の状況を注視し、調査研究をしていく。

水道施設台帳については、水道法改正時に作成していく。

コンセッション方式はまだ検

討している自治体が少ないため、今後の国の動向を注視する。また、アセットマネジメントの進捗状況については、この手法を取り入れた第2次基本計画の策定を平成29年度中に完了する。

「高齢者福祉電話」の貸与制度について

**問** 福祉の観点から、電話を必要とする対象者や運用方法等を定めた実施要綱の策定が必要と考えるが市の考えを伺う。

**答 (健康福祉部長)** 福祉電話の実施要綱について、現在、古河市ひとり暮らし高齢者日常生活用具給付等事業実施要綱に基づいて、電話回線の貸与を行っている。既存の実施要綱をわかりやすいものに見直しを行いたい。



大島 信夫 議員

## 公共事業による景気浮揚策

**問** 日本は長期にわたる不景気から抜け出せずにいる。消費を活発にしなければ景気は良くなる。しかし国民には経済的なゆとりがなく、企業は設備投資に慎重である。消費を活発にするには、国民が経済的なゆとりを持つてなければならない。それをつくり出すため、国と地方自治体には公共事業により、企業と国民の所得をつくりだす働きが求められる。所得増が消費

へと向かい、そこに新たな所得が発生し、それが新たな消費へと向かう、といった消費の連鎖を生み出せば経済は活性化し、税収も増加する。公共事業による景気浮揚策について所見を伺う。また合併特例債を全て活用したときの財政数値の試算をお示し願いたい。

**答（市長）** 全国の自治体においてインフラ整備は転換期を迎えており、災害対策や老朽化対策のための公共事業のニーズが高まっている。古河市においても公共施設の耐震化を行った。また、学校施設等の環境整備費を12月議会に補正予算で計上した。今後は、国、県と歩調を合わせながら長期的な展望のもと限られた経営資源を有効に活用し、

人口減少社会での持続可能なまちづくりを目指してまいりたい。  
**答（財政部長）** 合併特例債を全額活用した場合の財政状況は、平成29年度末までの発行可能残高を約118億円と見込んでおり、平成30年度から3カ年で使用し単年度当たり40億円という計算で想定すると、将来負担比率および実質公債費比率は、現状と同じような推移であり、早期健全化基準を大幅に下回り、財政の健全性が維持されると考える。



園部 増治 議員

## 雨水対策について

**問** 大堤排水路は、旧古河市内東本町、下山町、古河、南町、駅西地区の幸町、本町、横山町までの雨水が集まり国道4号、国道354号を横断し、思案橋の下流で向堀川と合流する。大雨のたびに越水し、農地に大きな被害が出ている。平成28年度に県で調査をしていただいたが、国、県の補助金の取り付けも視野に早急な整備を望む。

**答（市長）** 平成28年度に国土交通省が効率的雨水管理支援事業を創設した。古河市における効率的雨水管理総合計画の策定について検討していきたい。

**答（上下水道部長）** 大堤排水路の改修について、可能かどうか、補助制度があるかなど、関係機関と協議していきたい。



豪雨時、大堤排水路の越水状況

## 盛り土問題について

**問** 昨年10月4日、尾崎地区の盛り土事案で、産廃をみだりに捨て逮捕者が出たとの報告があった。また、昨年暮れの12月24日から30日にかけて、下辺見地内の農地に残土が積まれてしまい、近隣住民は困っている。今後の対策について問う。

**答（市長）** 規則を厳しくすることで違反行為の未然防止に努め、関係各機関との連携を強化し、厳しく対応していきたい。

**答（農業委員会事務局長）** 今後は違反事実の早期発見、対応に努めるとともに、関係各機関と協力体制をつくり、対応していきたい。



落合 康之 議員

### 県立文化ホールの誘致について

**問** 針谷市長の選挙公約には「文化センターは、市民の声を聴いて推進する」とある。県立の文化ホール誘致はいかがか。  
①古河市民および古河市の法人が県に納める税金の額。②県から古河市に支出される金額。③古河市内の県の施設数。④合併特例債の残額 118 億円で先導的プロジェクトを全て行うことは可能か。⑤市長は市民からの要望が上げれば県庁へ赴くのか。

**答（市長）** 県立文化ホールの誘致も手段の一つとして考えている。⑤市民の声を最大限尊重して頑張ってまいりたい。

**答（財政部長）** ①市民および法人が県に納めている税金は 52 億 2,000 万円、②県からの各種交付金は 25 億 1,300 万円。③市内の県施設数は 17 施設である。④特例債の残額の範囲で全てを行うことは厳しいと考えている。

**再質問** 特例債の残額で全部のプロジェクトを行うことはできない。夏の知事選挙を利用し、公約に入れていただく。財源も政治的トラブルもなく進められるかどうか。

**答（市長）** 知事選挙の立候補予定者に、文化ホールを公約に掲

げてもらうよう話はさせていただきたい。

**再々質問** 針谷市長は知事選挙も絡めて県立文化センター建設誘致活動をしていただけるか。

**答（市長）** 県に誘致をお願いする動きをしたいと思う。また、古河市選挙区選出の県議会議員の皆さんにも話をしたい。



### 《その他の質問》

- ・保育認定の在り方について
- ・空き家対策について



秋庭 繁 議員

### 急がれる高齢者の要望実現へ

**問** 身近なスーパーの閉店等で困ってるお年寄りが、新鮮な魚や肉を直接買いたいという要望がある。お年寄りのお買物の足を確保できないか。また、防災行政無線が聞こえないという声がある。栗橋（久喜市）や大利根（加須市）のが聞こえて、なぜ古河市のが聞こえないのか。

**答（市長）** お年寄りの買い物での交通手段の確保については、

商工会議所、商工会を通して要望の働きかけをしていきたい。

**答（生活安全部長）** 防災行政無線は環境や気象条件等により聞き取りにくい場合がある。聞き逃した場合のため、電話自動応答装置を整備した。他にもエリアメール、市ホームページ等を活用し情報提供に努めたい。

### 産業廃棄物の不法投棄について

**問** 市内の農地や山林に産業廃棄物の不法投棄が相次いでいる。初期対応に問題がなかったのか。県や警察と連携して、悪質な違反は告発すべきである。市道の破損にも損害賠償請求を。

**答（市長）** 産業廃棄物の不法投棄については今後も国、県に働

きかけ、各関係機関との連携を強く持っていきたい。スピード感を持って対応したい。

**答（生活安全部長）** 不法投棄する悪質業者への告発については、茨城県や警察と連携をとって協議し、対応していきたい。

**答（都市建設部長）** 道路損壊については、関係部署と連携し事業施工者の聞き取り等により行為の特定に努め、原形復旧を指導していきたい。



市内（下辺見）に不法投棄された産業廃棄物

## 議会報告会を開催します

～市民に身近で開かれた議会づくりを目指して～

古河市議会では、議会報告会を開催します。  
市民のみなさんの参加をお待ちしています。

○日時 5月20日(土)午後6時～

[受付：午後5時30分～]

○場所 中央公民館 大ホール

○内容

- (1) 古河市議会の概要について
- (2) 議会改革の取組みについて
- (3) 平成29年第1回定例会の審議結果の報告について
- (4) 意見交換会  
(内容：議会改革について、市政について)

※参加の申し込みは必要ありません。  
直接ご来場ください。

## 議会を傍聴しませんか！

市議会はどこでも傍聴することができます。

○傍聴の手続き

当日に議会事務局で住所、氏名を記入していただきます。

本会議場の定員は62名  
(うち車いす席2名)です。

○傍聴場所

古河市役所古河庁舎3階

### ★第1回定例会の傍聴者数★

議場コンサート	47人
本会議	98人
委員会(特別委員会含む)	17人
合計	162人

※傍聴者数は延べ人数

### ◆◆◆平成29年第2回定例会の会期予定◆◆◆

月 日	会 議	内 容
6月6日(火)	本会議	開会、議案の説明
6月7日(水)	休 会	議案調査
6月8日(木)	本会議	質疑、議案の委員会付託
6月9日(金)	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
6月12日(月)	常任委員会	文教厚生常任委員会
6月13日(火)	本会議	議場コンサート、一般質問
6月14日(水)	本会議	一般質問
6月15日(木)	本会議	一般質問
6月16日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

○時間は午前10時からの開催予定です。

○産業建設常任委員会は午前10時15分からの開催予定です。

※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

年初の日野自動車古河工場の全面稼働、2月には圏央道も開通し、古河市に追い風が吹く中、第1回定例会では、新年度の予算特別委員会や、代表および一般質問等で活発な審議を行いました。

また、議会改革の一端として昨年12月定例会から始まった一問一答方式も定着。さらに身近で開かれた議会を目指し、5月20日には議会報告会も開催されます。多くの市民の皆さまのご来場をお待ちしております。

副委員長 渡辺 松男

## 議会の様子を見てみよう！

古河市議会ホームページ、または下記QRコードからご覧になれます。

古河市議会中継

### QRコード



### 【議会だより編集委員会】

委員長 稲葉 貴大  
副委員長 渡辺 松男  
委員 秋山 政明 大島 信夫  
園部 増治 渡邊 澄夫

古河市議会事務局  
古河市長谷町38番18号  
☎ 0280-22-5111 (代)



環境にやさしい植物油インキを使用しています